

第2回 練馬区立氷川台保育園運營業務委託事業者選定委員会  
会議要点記録

平成30年5月8日（火）午前10時30分～11時50分

氷川台保育園視察

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、  
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）、  
氷川台保育園長、副園長ほか

1 園長より氷川台保育園の概要説明

2 園内視察

3 選定委員からの主な質問と回答

Q 幼児の定員に空きがある状況は、何年前からか。原因は分析しているか。

A 数年間続いている。3歳くらいで幼稚園に移る家庭や引っ越しなどの理由で今年は空きが多い。

区全体で見ても、4，5歳児クラスは定員に空きがある園が多い。

Q 民間委託について、保護者から不安の声はあるか。

A 職員が全員入れ替わること、民間委託で若手職員が多くなるのではないかと  
いうこと、その結果として保育の質が維持されるかということに不安を感じてい  
ると思う。しかし、前向きに、より良い事業者に決まってほしいと思っていられ  
る方が多いと感じている。

Q 民間委託について、職員はどのように感じているか。

A 他園で委託を経験している職員が多く、委託のスケジュールが分かっている職  
員も多い。職場（直営園の数）を減らさないでほしいという思いはあると思う。

Q 体育遊び・指導について、保育士は資格を持っているか。また、指導計画を立  
てているか。

A 資格は持っていないが、園内研修や体育・健康遊びの講座を受講するなどして  
おり、指導計画を立てて取り組んでいる。

Q 縦割り（異年齢）保育については指導計画を立てているか。

A 指導計画を立てて取り組んでいる。

Q 食糧備蓄の状況はどのようになっているか。

A 区立保育園の基準により備えている。

Q 退園時間の際に迎えに来る保護者はいるか。

A 5分程度遅れて到着する方はいるが、15分以上遅れる方は、ほとんどいない。

Q 苦情への対応策はどのように保護者に周知しているか。

A 園だよりや保護者会で周知している。

Q 小学校との交流はどれくらいの頻度で行っているか。

A 仲町小学校および開進第一小学校とそれぞれ年に1度交流を行っている。平成29年度は、天候等の理由により開進第一小学校と交流ができなかった。

Q 卒園生が、その後どのように育っているか、職員が知る機会はあるか。また、卒園生が園に来ることはあるか。

A 小学校との交流時や、担任だった職員が、小学校の運動会で成長した姿を見ることはある。また、卒園式の写真を受け取りに来たときなど、卒園生が保護者と一緒にランドセルを背負った姿を見せに園へ来てくれることがある。

Q 子どもたちが自らの好きな遊びに取り組む時間を設けているか。

A 園が遊びを設定せずに、子どもたちが自由に好きな遊びを行う時間も設けている。